

こんにちは ふくま健治です

活動報告ニュース
2019年2月2号

3月市議会、3月5日開会



2月26日、議会運営委員会が開催されました。会期は3月5日～19日。議案は31件、報告2件追加予定議案6件が提案

(市政懇談会で質問に答える福間)が提案されました。

一般質問は11日(月)～13日(水)の3日間です。

「ワンコインバス」を要望

1月、大分市がワンコインバスの在り方の検討会を立ち上げました。多くの関係者から、制度が見直しされるのではないかと不安の声を受けて、2月15日、年金者組合大分市連絡協議会が大分市に申し入れをおこないました。私も同席し、参加者を激励しました。



(福祉保健部長室にて)

化をすすめる」ことなどを要望しました。

福祉保健部長は「制度を削減するとか、よくするとかではない。今の制度の在り方について、ご意見をいただくものだ」との姿勢に終始しました。

生保不服審査請求・口頭意見陳述



2月21日、昨年12月、生活保護基準切り下げを不服とする審査請求に基づき、口頭意見陳述が大分県庁で行われました。

私も不服審査請求代理人として、生活保護基準引き下げの不当性、生活保護利用者の厳しい生活実態を告発し、審査請求の採決を求めました。

がけ地対策で現地調査



開発団地の東側斜面は、昨年土砂災害警戒区域に指定されている地域です。自治会長と調査しました。

2・17日本共産党演説会

ご参加ありがとうございました



(コンパル・文化ホール)

「市民と野党の共闘を瞳のように大切に、安倍自公政治を終わらせよう」。大分県政について「県民の暮らしと心に寄り添い、大企業優遇や大型開発をただす厳しいチェック役、要求実現の先頭にたつ党議席の値打ち」を話しました。つつみ栄三県議は5期目挑戦の決意を述べました。



(吉光さんと穀田議員)

穀田恵二衆議院議員は、「市民と野党の共闘を瞳のように大切に、安倍自公政治を終わらせよう」。大分県政について

「県民の暮らしと心に寄り

JR九州の駅無人化・減便撤回で吉田春美さん。子ども医療無料化拡充で吉光友美さんが、つつみ県議必勝へ、要求実現への思いを託しました。

県議選告示まで後1か月、つつみ浮上に

宣伝・支持拡大を2倍・3倍に

党後援会の街頭アピール、25歳の青年と訴え



2月09日、党大分市後援会の街頭宣伝活動には8名が参加し、大分駅周辺で党躍進を訴えました。



私も、大道の青年党員と精力的に街頭から、党への支援を訴えています。行く先々で、激励を受けています。

暮らしや地域の要求をお寄せください

ふくま健治生活相談所

大分市東大道3-2-6
546-4505 (FAX兼用)
携帯090-2714-5612

